

製品名: MED29 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13775**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	MED29 IXL
別名	
遺伝子 ID	55588.0
SwissProt ID	Q9NX70
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 40-120

背景

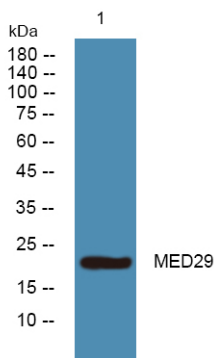
MED29 は、メディエーター複合体のサブユニットであり、DNA 結合型転写活性化因子、RNA ポリメラーゼ II (MIM 180660 参照)、および一般転写開始因子 (Sato et al., 2003 [PubMed 14576168]) と相互作用する RNA 転写の多タンパク質共活性化因子である。

る。[OMIM 提供、2009年8月]機能: ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺伝子の転写制御に関与する共活性化因子であるメディエーター複合体の構成要素。メディエーターは、遺伝子特異的な制御タンパク質から RNA ポリメラーゼ II の基本的な転写機構へ情報を伝達する橋渡しとして機能する。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNA ポリメラーゼ II および一般的な転写因子との機能的な開始前複合体の組み立ての足場として機能します。類似性:メディエーター複合体サブユニット 29 ファミリーに属します。サブユニット:メディエーター複合体の構成要素で、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、および CDC2L6/CDK11 で構成されています。MED12、MED13、CCNC、および CDK8 サブユニットは、CDK8 モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成します。CDK8 モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の補助活性が低くなります。1つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の標本は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAP など様々な名称で呼ばれています。MED18/MED20 ヘテロマーと関連しています。組織特異性: 胚および成体で広く発現しています。

研究分野

ポリメラーゼ関連因子; ポリメラーゼ II 転写; エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; メディエーター複合体

画像データ



DU145 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、MED29 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩